企画政策部会における主な意見とその対応

関連項目	前回部会 (R2.3.16) における主な意見	対 応
第1章 計画の 基本的事項	県の自然環境・社会環境をきちんと記述して、県独自の未来のあり方をみんなで考えていくという形ができると良い	計画冒頭「はじめに」及び第1章「1 計画策定の趣旨」において、 現在に至る環境問題の経緯や、SDGs等の背景、なぜ今環境学習等 が必要なのか、近年の動向を交えて記載した。(P1~7)
	世界的にどのような問題が起こっていて、なぜ SDGs が出てきたのか等の背景を魅力的に書くことが必要	
	SDGs の変革という言葉は、途上国含め格差に直面する方々の思いが込められており、そこを深読みした考え方を出せると良い	
	地域の環境を大事にして、それが地域の人達の生活に直接的に関わっているという視点を含めて書けると良い	
第2章 環境学習等の 現状と課題	若年層の関心が低いこと等の課題について、もう少し分析・深掘りする点があると良い	県政世論調査や意見交換会の結果等を基に、課題を整理し直した。 (P15)
第3章 計画の 目指す方向	指標や施策を、人々が行動するようになっているのか、どうやったら人が動いていくのかという観点で選んでほしい	「基本目標」や「推進に当たっての視点」等において、あらゆる 主体の連携・協働、時代のニーズに合わせた取組を進めていく旨記載 し、「行動する人づくり」という目標達成に向けた指標を設定した。 (P16~24)
	農林水産業の担い手の方にも入っていただいた包括的な計画、行動となるようにしていただきたい	
	自分たちの生活が再生可能エネルギーでやっていけるというような新しい視点も入れてほしい	
第4章 推進施策	SDGs などの文言は入っているが、今までとどう変わったのかが分かりにくい	第 2 章で整理した課題を踏まえ、特に「若手人材の育成」、「地域 資源を活かした取組」、「多様な主体との連携・協働」といった点を 意識した施策を盛り込んだ。(P25~38)
	県の特徴といった点が、事業展開の中に市民側にも見える形で表せると良い	
	学校教育の中での環境学習という点は力を入れるべき	「1 人材の育成と活用」に、教職員等の人材育成、環境学習等に 取り組む学校等の支援を記載した。(P26)
	教育の場における人材育成が重要になってくる	
	県で企業の取組情報を集約し、市民や市町村とつないでいけるようなセクションを作ってほしい	「2 情報発信・普及啓発」に、環境学習等に関する情報の集約・ 提供、県の環境データの提供を記載した。(P28)
	面白い教材となるような環境データを県で整理・提供するといった視点を入れられると良い	
	房総には自然型農業や自然と共生する生活を営んでいる人がいるので、そこでの体験を通じて学べることもあるのでは	「4 参加の場と機会の提供」に、体験活動の促進に係る取組を記載 した。(P32)
	企業は今 SDGs に幅広く取り組んでいるので、企業を活用していくことが必要である	「5 活動基盤の充実」に、民間資金の活用を、「6 協働取組の推進」 に、事業者等との協働の推進を記載した。(P35、37)
	自ら行動を起こしていくような人材を企業と一緒になって作っていくことを考えてもよいのでは	
第5章 推進体制	進行管理について、庁内連携を見える形で示し、様々な主体との意見交換により丁寧に計画に反映させてほしい	庁内部局横断で組織する「千葉県環境学習推進連絡会議」、県民、 NPO等、学校、事業者、市町村など多様な主体との意見交換を行い ながら進行管理していく体制を明記した。(P39)
その他	具体的にどんなプログラムがあって、どんな行動をしてもらおうとしているのかというイメージを共有できると良い	具体的なイメージを持てるよう、環境学習等の取組事例に係る コラムや図表・写真を各所に挿入した。
	身近な取組という感じでハードルを下げ、親しみやすい魅力的な計画にしてほしい	
	目線を少し下げて、分かりやすい言葉・アクションで、子どもたちに教えるような具体的な行動計画を示してほしい	